

平成28年5月17日

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	平塚江南高等学校	課程・学科	全日制・普通科
-----	----------	-------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、地域社会・国際社会に貢献する、高い志と豊かな知性・教養を備えた、未来を拓くリーダーの育成をめざし、多様な教育活動に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的で対話的な深い学びの過程の実現をめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、平成28、29、30年度の3年間「理教教育推進校」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及するとともに、平成28、29年度の2年間「学力向上進学重点校エントリー校」として平成30年度の学力向上進学重点校の指定に向けて取り組む。

2 学校教育目標

- 教科指導・生徒指導・進路指導の一体となった取組みの充実を図り、難関国公立大学等生徒一人ひとりの第一進路希望の実現をめざす。
- 授業の質と量の確保・向上を図るとともに、高いレベルの思考力・判断力・表現力、課題発見・解決に向けた資質・能力を向上させる。
- 知・徳・体のバランスの取れた教育を実践することで、次世代のリーダーにつながるような豊かな人間性、社会性を育成する。

3 計画作成時点での課題

- 平日における家庭での学習時間が1時間以内の者が70%を超えており、予習、復習を含め主体的に学ぶ意欲に課題が見られる。
- 難関国公立大学を第一進路希望としながら、安易な科目選択をしたり、途中であきらめて第一進路希望を変更する生徒が増えている。
- 高いレベルの思考力・表現力等の育成をめざし組織的な授業改善を進めているが、探究心を高めるアクティブ・ラーニングなどの研究が進んでいない。
- 体育祭などの学校行事が盛んであるが、授業時間を確保する観点から行事の精選を進める必要がある。
- SNSに係るトラブルなどに見られるように、社会の一員としてのモラル、マナーの育成、人権意識の向上が求められる。
- 学習や進路選択、人間関係の構築など高校生活全般にわたって悩みを抱える生徒、様々な課題を抱えている生徒が増えている。
- 保護者・同窓会と一体となった様々な取組みが見られるが、地域等の教育力を活用した取組みや連携・協働した取組みの拡充を図る必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程・ 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲や探究心を高める教育課程編成及び組織的、体系的な授業改善を推進する。 ○学校行事や生徒会活動等を通じて、生徒の主体性・リーダーシップを育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業の研修会の実施及び内容の充実を図る。 ○学校行事や生徒会活動等の内容の充実を図る。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○社会の一員としての規範意識や公共心、豊かな人間性を育成する。 ○生徒一人ひとりの実態や特性に応じたきめ細かい支援体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科指導や特別活動を通じて、道徳教育の充実を図る。 ○生徒一人ひとりの特性やニーズを把握するとともに情報を共有化し、支援・指導の充実を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりのキャリア発達を促すとともに、第一進路希望を実現させる進路指導体制の一層の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○模擬試験等結果を分析し、三者面談等による生徒一人ひとりへの指導の充実を図る。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○外部への情報発信を拡充するとともに、地域を始め、保護者・同窓会との連携・協働を一層推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者・同窓会のみならず、外部関係機関との連携・協働した取組みの一層の充実を図る。
5	学校管理・ 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○事故・不祥事を防止するとともに円滑で効率的な学校運営に努め、県民から信頼される学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備の管理体制を整備し、安全・安心な教育環境の充実を図る。 ○授業改善等に係る研修会、事故防止会議の実施及び内容の充実を図る。